

## 平成20年12月期 第1四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成20年4月28日

上場会社名 日本精蠟株式会社

上場取引所 東証第2部

コード番号 5010

URL <http://www.seiro.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 吉田 泰邦

問合せ先責任者 役職名 常務取締役

氏名 井上 寛

TEL(03)3523-3530

1. 平成20年12月期第1四半期財務・業績の概況 (平成20年1月1日～平成20年3月31日) (百万円未満切捨て)

## (1) 経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成20年12月期第1四半期	13,224	41.0	697	△9.1	665	△5.1	△1,038	-
平成19年12月期第1四半期	9,378	0.1	767	23.4	701	32.0	410	175.1
平成19年12月期	42,749	11.7	3,136	14.3	2,934	22.7	1,683	37.5

	1株当たり 四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)		潜在株式調整 後1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成20年12月期第1四半期	△46	40	-	-
平成19年12月期第1四半期	18	35	-	-
平成19年12月期	75	18	-	-

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成20年12月期第1四半期	31,096	8,695	28.0	388	35
平成19年12月期第1四半期	29,062	8,737	30.1	390	22
平成19年12月期	28,316	9,900	35.0	442	15

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成20年12月期第1四半期	△48	△70	2,406	2,345
平成19年12月期第1四半期	△200	△46	277	1,788
平成19年12月期	1,233	△907	△2,026	57

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	(基準日)	
	第1四半期末	
	円	銭
平成20年12月期第1四半期	-	-
平成19年12月期第1四半期	-	-

## 3. 平成20年12月期業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	23,770	29.9	1,340	△23.1	1,240	△20.3	△700	-	△31	25
通期	52,300	22.3	2,660	△15.2	2,460	△16.2	10	△99.4	0	45

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の有無 : 有  
(2) 最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 無

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、平成20年12月期中間期及び通期業績予想を修正しております。詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年1月1日～平成20年3月31日）は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱を背景に、世界経済の先行きは一段と不透明感を増してきました。一方、緩やかな拡大傾向にあった国内経済は、原油・原材料価格の高騰や急激な円高の影響等から企業の景況感は急速に悪化し、個人消費も相次ぐ諸物価の値上げの影響から鈍化し、景気の先行きに減速感が強まってきました。とりわけ、原油価格はその指標であるWTI原油価格は投機資金の流入やドル安の影響等により、2月を底に上昇に転じ3月には史上最高値の100ドル/バレルを記録し、一段と騰勢を強めてきました。

このような状況の中で、前期末発表のワックス製品の値上げ貫徹をはじめ更なるコスト削減等に注力し、採算改善に努めてきました。その結果、主製品のワックス販売は前年同期に比較して販売数量では2,258トン増の23,531トン、販売高では製品値上げの浸透効果により673百万円増の4,319百万円の実績となりました。また、重油販売は販売数量では4,846キロリットル増の131,816キロリットル、販売高では原油相場高騰の影響により3,169百万円増の8,899百万円の実績となりました。

これにより、当第1四半期の実績は前年同期に比較して売上高では3,845百万円増の13,224百万円、営業利益では70百万円減の697百万円、経常利益では36百万円減の665百万円となりましたが、当第1四半期純利益では3月28日発表済の更正通知受領に伴う過年度法人税等の追加負担（1,423百万円）により、1,449百万円減の1,038百万円の損失となりました。なお、この更正通知に対し当社といたしましては、当局に対し異議申し立てを行い、公正な手続きの中で当社の主張が認められるよう鋭意努力していく所存であります。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、31,096百万円、負債合計は22,400百万円、純資産は8,695百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末残高に比較して2,287百万円増加し、当第1四半期末残高は2,345百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、48百万円となりました。これは主として、売上債権の増加額348百万円、たな卸資産の増加額206百万円、仕入債務の増加額86百万円、法人税等の支払額748百万円等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、70百万円となりました。これは、徳山工場の設備投資額70百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、2,406百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済額478百万円、短期借入金の純増額3,020百万円、配当金の支払134百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

本年2月に開示いたしました業績予想を修正しております。その内容に関しましては、本日付発表の「平成20年12月期中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

### 4. その他

#### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものについても一部簡便的な方法を採用しております。

#### (2) 最近会計年度からの会計処理の変更の有無

該当事項はありません。

## 5. (要約) 四半期財務諸表

## (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	前年四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 平成19年12月期末
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)						
I. 流 動 資 産		14,779	16,609	1,830	12.4	13,722
現金及び預金		1,788	2,345	556	31.1	57
受取手形		378	369	△9	△2.5	349
売掛金		4,702	6,320	1,618	34.4	5,992
たな卸資産		7,492	6,963	△529	△7.1	6,756
その他		420	616	196	46.7	571
貸倒引当金		△4	△5	△1	38.9	△5
II. 固 定 資 産		14,283	14,486	203	1.4	14,593
有形固定資産		13,584	13,941	357	2.6	13,993
無形固定資産		15	11	△3	△23.7	12
投資その他の資産		683	533	△150	△22.0	587
資 産 合 計		29,062	31,096	2,033	7.0	28,316
(負債の部)						
I. 流 動 負 債		13,640	16,326	2,685	19.7	11,977
支払手形		296	419	123	41.7	503
買掛金		2,696	2,442	△253	△9.4	2,272
短期借入金		6,971	8,589	1,618	23.2	5,569
一年内返済予定長期借入金		1,986	1,469	△517	△26.0	1,606
一年内償還社債		200	-	△200	-	-
未払法人税等		301	1,729	1,428	474.4	763
賞与引当金		86	125	38	44.3	42
修繕引当金		260	268	7	2.9	200
その他		841	1,282	440	52.4	1,021
II. 固 定 負 債		6,684	6,074	△609	△9.1	6,437
長期借入金		3,035	2,476	△558	△18.4	2,818
再評価に係る繰延税金負債		3,490	3,490	-	-	3,490
退職給付引当金		98	104	5	5.6	104
その他		59	2	△56	△95.5	24
負 債 合 計		20,324	22,400	2,075	10.2	18,415

科 目	期 別	前年四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当期四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 平成19年12月期末
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)						
I. 株 主 資 本		3,531	3,563	31	0.9	4,736
1. 資 本 金		1,120	1,120	-	-	1,120
2. 資 本 剰 余 金		14	14	-	-	14
3. 利 益 剰 余 金		2,400	2,432	32	1.3	3,605
4. 自 己 株 式		△2	△3	△0	10.5	△3
II. 評 価 ・ 換 算 差 額 金		5,206	5,132	△73	△1.4	5,163
1. その他有価証券評価差額金		76	2	△73	△96.8	33
2. 土地再評価差額金		5,130	5,130	-	-	5,130
純 資 産 合 計		8,737	8,695	△42	△0.5	9,900
負 債 ・ 純 資 産 合 計		29,062	31,096	2,033	7.0	28,316

## (2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	前年四半期末 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成19年12月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売 上 高		9,378	13,224	3,845	41.0	42,749
II. 売 上 原 価		7,980	11,843	3,863	48.4	36,846
売上総利益		1,397	1,380	△17	△1.2	5,902
III. 販売費及び一般管理費		630	683	53	8.4	2,765
営業利益		767	697	△70	△9.1	3,136
IV. 営業外収益		14	60	46	327.5	154
V. 営業外費用		79	91	11	14.8	356
経常利益		701	665	△36	△5.1	2,934
VI. 特別損失		0	10	10	1,822.2	60
税引前四半期(当期)純利益		701	655	△46	△6.6	2,881
税金費用		290	270	△19	△6.8	1,198
過年度法人税等		-	1,423	1,423	-	-
四半期純損失(△) 又は四半期(当期)純利益		410	△1,038	△1,449	-	1,683

## (3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 18 年 12 月 31 日残高	1,120	14	2,112	△2	3,243
当四半期の変動額					
剰余金の配当			△123		△123
四半期純利益			410		410
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額					
当四半期の変動額	-	-	287	-	287
平成 19 年 3 月 31 日残高	1,120	14	2,400	△2	3,531

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	
平成 18 年 12 月 31 日残高	81	5,130	8,455
当四半期の変動額			
剰余金の配当			△123
四半期純利益			410
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額	△5	-	△5
当四半期の変動額	△5	-	282
平成 19 年 3 月 31 日残高	76	5,130	8,737

当四半期（平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円未満切捨）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 19 年 12 月 31 日残高	1,120	14	3,605	△3	4,736
当四半期の変動額					
剰余金の配当			△134		△134
四半期純損失(△)			△1,038		△1,038
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額					
当四半期の変動額	-	-	△1,173	△0	△1,173
平成 20 年 3 月 31 日残高	1,120	14	2,432	△3	3,563

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	
平成 19 年 12 月 31 日残高	33	5,130	9,900
当四半期の変動額			
剰余金の配当			△134
四半期損失(△)			△1,038
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額	△31	-	△31
当四半期の変動額	△31	-	△1,204
平成 20 年 3 月 31 日残高	2	5,130	8,695

(参考) 前事業年度 (平成 19 年 1 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 18 年 12 月 31 日残高	1,120	14	2,112	△2	3,243
事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△190		△190
当期純利益			1,683		1,683
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額					
事業年度中の変動額	-	-	1,493	△0	1,493
平成 19 年 12 月 31 日残高	1,120	14	3,605	△3	4,736

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	
平成 18 年 12 月 31 日残高	81	5,130	8,455
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△190
当期純利益			1,683
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額	△47	-	△47
事業年度中の変動額	△47	-	1,445
平成 19 年 12 月 31 日残高	33	5,130	9,900

## (4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第1四半期)	(参考) 平成19年12月期
		金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期(当期)純利益		701	655	2,881
減 価 償 却 費		130	171	545
修繕引当金の増加額		85	68	25
売上債権の増減額		△ 797	△ 348	△ 2,058
たな卸資産の増減額		△ 1,076	△ 206	△ 340
仕入債務の増減額		1,582	86	1,366
利息の支払額		△ 61	△ 81	△ 319
法人税等の支払額		△ 892	△ 748	△ 1,339
そ の 他		129	355	472
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 200	△ 48	1,233
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形・無形固定資産の取得による支出		△ 47	△ 70	△ 969
そ の 他		0	0	62
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 46	△ 70	△ 907
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増額		873	3,020	△ 528
長期借入金の純減額		△ 513	△ 478	△ 1,310
そ の 他		△ 82	△ 134	△ 187
財務活動によるキャッシュ・フロー		277	2,406	△ 2,026
IV. 現金及び現金同等物の換算差額		-	-	△ 0
V. 現金及び現金同等物の増減額		30	2,287	△ 1,700
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		1,758	57	1,758
VII. 現金及び現金同等物の 四半期(期末)残高		1,788	2,345	57